

2023年5月18日
日鉄物産システム建築株式会社
代表取締役社長 生井敏夫

22年度業績と23年度計画について

22年度の当社の受注高は318億円(対前年度比：125.6%)、売上高は261億円(対前年度比：110.8%)で、受注高・売上高とも過去最高となり、地区別では中部・中国・九州の3地区が過去最高の受注高となった。

受注棟数は217棟、受注床面積49万㎡、一棟当りの平均床面積2,246㎡であった。

当社の販売ネットワークである「日鉄物産システム建築会」の会員数は、1,538社となった。

従来のスミスシリーズ「ティオ」「ネオ」「トレオ」の3商品に加え、最大柱間隔を11.5m×11.5mに拡大した両方向ラーメン構造の「スミス ネオグリッド」の販売を正式に開始し、内部レイアウトの自由度の高さと、より幅広いニーズへの対応力が評価され、受注決定した物件が早くも3件と好調な滑り出しを見せている。

顧客である設計事務所やゼネコンから評価されている「地域に密着した営業体制」、「会員と連携したビジネススタイル」の継続と、豊富な商品バリエーションにより、2023年度の受注高は280億円、売上高は300億円を見込む。



建設地／山口県防府市 用途／工場・営業用倉庫 商品名／ティオ 階数／1階 施工床面積／3,019㎡